

〈特集〉

二十歳を祝う会

1月12日にカノラホールにて二十歳を祝う会が開催されました。式典のようすと、二十歳の若者の声をお伝えします。



二十歳を祝う会の式典には、令和6年度に二十歳を迎える518人のうち、347人のみなさんが出席しました。二十歳のみなさんの代表として、北澤沙夏さんと味澤萌花さんによる司会で式典は進行し、河口慈英さん、窪田ゆらさんがそれぞれ「誓いのことば」を述べ、二十歳の決意を語りました。その後、中学校の恩師からのビデオメッセージや思い出アルバム「二十歳までの歩み」の映像が披露され、会場に笑顔があふれるなごやかな式典となりました。

お祝いのことば

夢と希望に満ちあふれ、人生の大きな節目となる二十歳を迎えられた皆さん、本日は誠におめでとうございます。次世代を担う皆さんが心身ともに健康やかに成長され、無事に新たな門出を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

皆さんを取り巻く社会は、今、大きな変革の時代を迎えています。AIをはじめとする情報技術が目覚ましい進化を遂げる一方で、少子高齢化、脱炭素社会への対応、異常気象とそれに伴い激甚化・頻発化する自然災害への対応など、難しい課題も山積しています。こうした変化にも柔軟に対応するとともに、目まぐるしく変化する国内外の情勢にも目を向け、若い力と勇気をもって、臆することなく何事にも果敢に挑戦し、自分の夢に向かって大きく踏み出してください。そして、ふるさと岡谷に誇りと愛着を持ち、私たちと一緒に盛り返していただることを期待しております。

これから新しい時代を築く皆さんが自らの可能性を信じ、大きく飛躍されますこと、また、これからの人生におけるご活躍とご多幸を心から祈念申し上げます。

岡谷市長 早出一真



岡谷市民憲章 の 唱和

岡谷市民憲章とは、岡谷市民が郷土を愛し、自らのまちを住みよい豊かなまちとするために、市民の手によって作られた「まちづくりの基本理念」であり、市のまちづくりの根幹となってきたものです。式典では、冒頭に自席にて起立し全員で岡谷市民憲章の唱和を行いました。この光景を心に刻み、これからの人生を歩んでいってほしいと思います。



代表 河川 慈英さん

私は現在、県外の大学で医学を学んでいます。昔からゲームが好きで、高校生の初めくらいまではゲームクリエイターを目指していました。しかし、高校時代に新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、その経験を通じて医学にも興味を持つようになりました。過去のさまざまなパズルゲームと、それを乗り越えてきた先人たちの努力を知り、自分も医学の道に進みたいと思うようになりました。現在、どの科の医師になりたいかという明確な目標はまだありませんが、大学で多くの刺激を受け、それを吸収し、より多くの人々を助けられるように努力していきたいと考えています。

この二年間忙しい時期もありましたが、自分で決めて進んだ道であるため、充実した毎日を送っています。入学当初は時間に余裕があり、新しいことをいくつか始めました。今となっては、それがどれほど大切だったのかを痛感しています。何かを始めようと思っても、その時の自分に余裕があるとは限らないのです。人生を長いスパンで考えると、二十歳を迎えた今こそ、挑戦するには適した時期だと思っています。これから先、遅かれ早かれ、皆さんや私も挑戦の機会が訪れるでしょう。そんな時に、そのチャンスを見逃さず、自分の成長のためにしっかりと掴み取れるようになりたいと考えています。

また、私は六年制の大学に通っているため、私が社会に貢献できるのは少し先になるかもしれません。しかし、周囲の方々への感謝を忘れず、一人の大人として、いずれば故郷である岡谷を支える存在となれるよう精進していく所存です。

最後にありますが、このような盛大な式典を準備してくださった関係者の皆様、またご多忙のなかご臨席いただきましたご来賓の皆様、二十歳を迎える皆さんを代表して、心よりお礼申し上げます。「誓いのことば」させていただきます。

「誓いのことば」

※全文より抜粋

私は、高校卒業後、自分の学びたいことのために地元を離れ、一人暮らしをしながら大学へ通っています。大学生になり、一人暮らしをしていくなかで、自分ができることの少なさを実感し、母をはじめとした家族のありがたみを感じました。また、自分のそばに頼れる人、仲間たちがいたことのありがたさも痛感いたしました。

今までの二年間の大学生活では、見るもの、学ぶものすべてが新鮮であり、多くの刺激を受けました。夏が近づく頃には友達もでき、アルバイトなども始める余裕ができました。振り返ると一年目では右も左もわからず、頼れる人もいないなかで、無我夢中で駆け抜けた一年でした。二年目では、交友関係も広がり、頼ることができている人ができたため、充実した生活を送っています。

将来は、社会福祉士となり、大学で学んだ福祉の知識を生かし、さまざまな方法や制度を利用し、困っている人の自立のお手伝いができるような社会人になりたいと考えています。

今、学生として勉強に励んでいる仲間、就職をして社会人として頑張っている仲間などみんなそれぞれ環境は違いますが、今の私たちは、まだまだ未熟であります。二十歳を迎える私たちは、一人ひとりが大人としての一歩を踏み出したという自覚を持ち、責任ある行動をとることを心がけるとともに、故郷である岡谷市で育った誇りと、感謝を胸に社会に貢献できるような大人になりたいと思います。

結びとなりますが、このような盛大な式典を準備してくださりました関係者の皆様、ご多忙のなかご臨席を賜りましたご来賓の皆様、二十歳を迎える皆さんを代表して謹んでお礼申し上げます。「誓いのことば」させていただきます。



代表 窪田 ゆらさん



PHOTOS OF 20 YEARS OLD CELEBRATION CEREMONY AT CANORA HALL ON JANUARY 12TH



二十歳のキモチ！

会場を盛り上げてくれた司会の二人への「インタビュー」と
会場で出会った人たちからの「ひとこと」

「将来の夢は何ですか？」



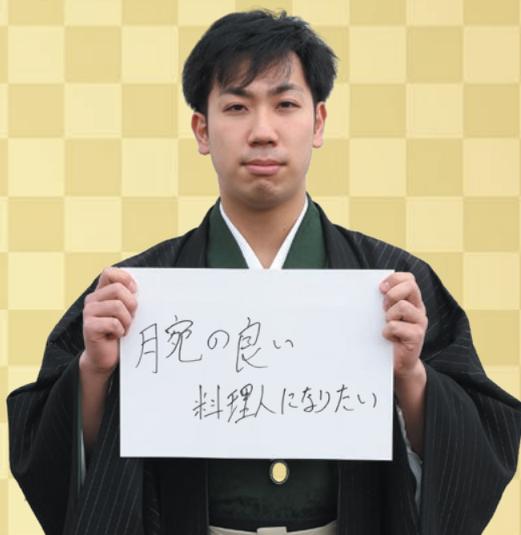
塩沢 朱梨さん

ホスピタリティを身に
ホテルエィなる!!



齋藤 愛咲さん

お金をかせいで
自立して生きる!



宮坂 渉さん

腕の良い
料理人になりたい



徳永 梨沙さん

立派な社会人に
なります!!

キモチ

Q4

大鼓まつりや、きつね祭などのお祭りを、小さい時は親と、中学高校では友達と回れたのが嬉しかったなあとあります。皆とワチャワチャ出来たのがお祭りだなと思います。また、カンラホールでのイベントが全部印象的です。小学校の合唱団とか、中学校の音楽会とか、舞台鑑賞をしたりなど、そのほか、さまざまな事をさせてもらえたなと思います。

岡谷での思い出を教えてください。

キモチ

Q3

人の気持ちを聴いてその人と一緒に成長している自分でありたいです。自分中心の生活ではなく、人とコミュニケーションを取って生きていてほしいですね。どんな場所においても、そんな生活をしているかなと思います。

5年後の自分の姿を想像してください。

キモチ

Q2

将来はどんな仕事に就いても、人を笑顔にしたいです。わたしは自分に自信がないのが欠点ですが、その欠点を受け入れながら、その人の支えになれる自分になれたらと思っています。

将来の夢は何ですか？

キモチ

Q1

秘書検定や、メンタルケアカウンセラーなどの資格勉強をしてみたいです。

二十歳になってやってみたいことや、やってみたいことは？



司会

キモチ

司会 北澤 沙夏さん



春日 莉緒さん



長門 杏実さん



山田 凱斗さん



藍原 一花さん



田中 敬普さん



中島 優香さん



司会 味澤 萌花さん

司会

キモチ

Q4

小学生のころ、親戚と一緒にいった岡谷花火まつりで見えた灯籠流しが、とてもきれいで心に残っています。太鼓まつりで行われている「MINAKOI わっさか」が毎年楽しく、心に残っています。

岡谷での思い出を教えてください。

キモチ

Q3

演技の基礎をもっと伸ばし、東京でアニメなどの作品に名前が載る声優として、活躍できていたら良いかと考えています。

5年後の自分の姿を想像してください。

キモチ

Q2

声優になることです。小学生のころに観た、劇団四季の舞台に感銘を受け、わたしも人を感動させることのできる声優になりたいと思い、この道に進むことを決めました。

将来の夢は何ですか？

キモチ

Q1

一人旅をしたことがないので、さまざまな経験を積み旅に出てみたいです。上京してできた友だちといろいろなお店に足を運びました。

二十歳になってやってみたいことや、やってみたいことは？